



SENSHOJI  
2020 YUKARI NEWSLETTER  
since 1994

ゆかり通信

北海道千歳市清水町1-14 鶴寶山 千正寺

VOL. 275

TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883

令和 2 年 12 月 ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

KAKUHOZAN SENSHOJI

浄土真宗的「仏教語辞典」その16 **ち行・つ行**

**中道【ちゅうどう】**

とらわれから離れ、真実を見て生きなさいという教え。お釈迦さまは、欲望に従順に生きるのでもなく、欲を捨てようとこだわり苦しめられるのでもなく、中道を歩むことでさとりに至ることが出来ると説き、その実践法（八正道）を説いた。社会問題で意見が割れたときに「私は中道です」と、何も意思を表明しない僧侶がいるが、それは、それに対する知見がないのを誤魔化しているか、面倒から逃げているだけである。仏教の教えは今の感覚で見るとバランスを欠いているようなものもあり、なんでもかんでも中間を取ればいいというものでもない。



**頂戴【ちようだい】**

「頂」はいただきのこと、「戴」はのせることを意味し、仏さまや教典など尊ぶものを頭の上でいただくことをいう。それが物をもらうときに頭を下げる様子から、頂戴は「もらう」という意味を持つようになった。「十二札」というお経には「観音頂戴冠中住」とあり、観音さまが冠を頭の上になだかれ、その冠の中に仏が住んでいると書かれている。



**聴聞【ちようもん】**

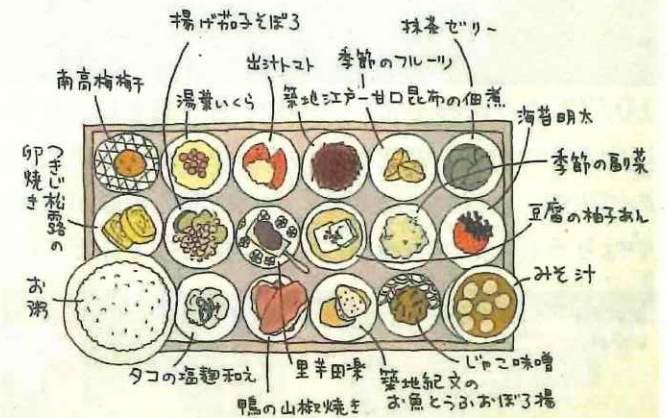
浄土真宗では法話を聞くことを聴聞という。聴も聞も「きく」と読むが、聴は「心で聴く」、聞は「耳で聞く」という意味であり、仏教の法話を聴聞するということは、ただ知識として聞いて批評するのではなく、仏さまを通じて自分の姿が見えてくるということこそが大切なのである。



**築地本願寺カフェ**

**【つきじほんがんにかふえ】**

築地本願寺の境内にあるカフェ。本堂を眺めながら食事をする事ができる。朝食が充実していて、「18品の朝ごはん」は阿弥陀如来の本願（第18願）にちなんで、16種類のおかずとお粥・味噌汁の全部で18品目を一度に味わうことができる。朝8時からやっているの、朝のお参りの後に立ち寄ることも可能。



**つまようじ【つまようじ】**

奈良時代に仏教の伝来とともに伝えられた。お釈迦さまが弟子達に木の枝で歯を磨くことを教えたことから始まり、僧侶が身につけておく必要があるものの中につまようじが入っている。



**通夜【つや】**

葬儀の前日の夜、近親者や友人などが集まり、仏前でお参りをし故人を偲ぶ場。故人の思い出を語りあったり、法話を聞いて仏さまの教えに触れる機会でもある。



本文：麻田弘潤著「気になる仏教語辞典」より